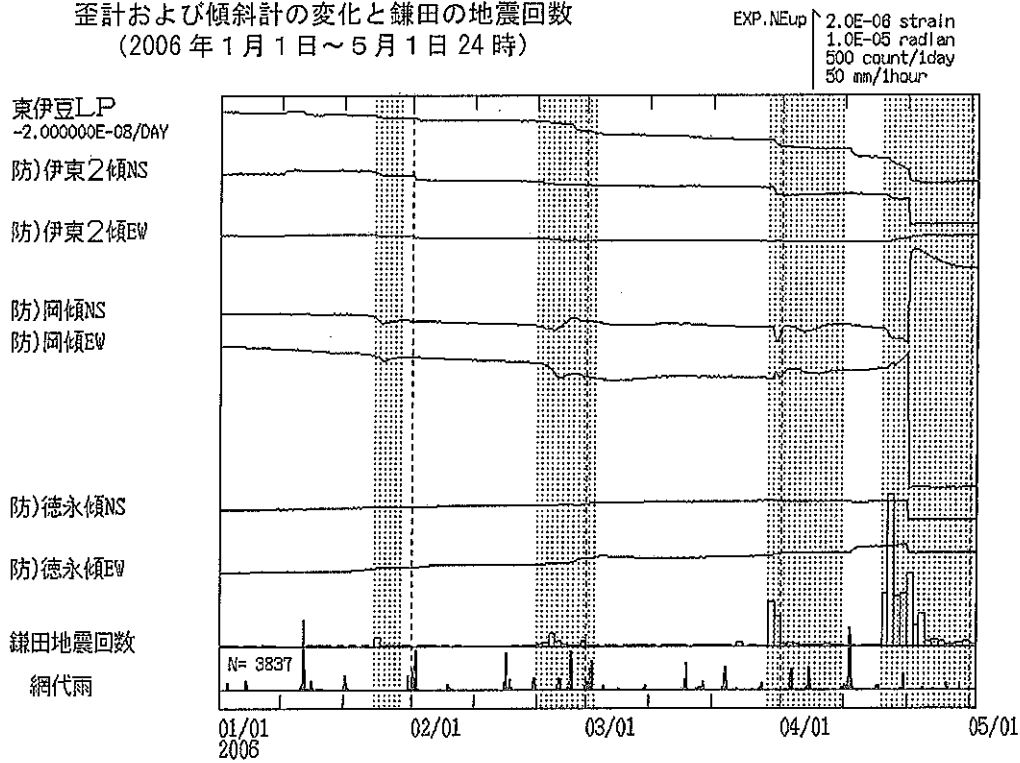


歪計および傾斜計の変化 (2006年1月以降の地震活動に伴うもの)

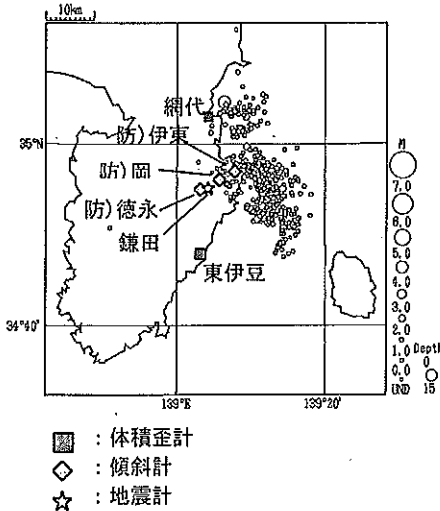
歪計および傾斜計の変化と鎌田の地震回数
(2006年1月1日～5月1日24時)



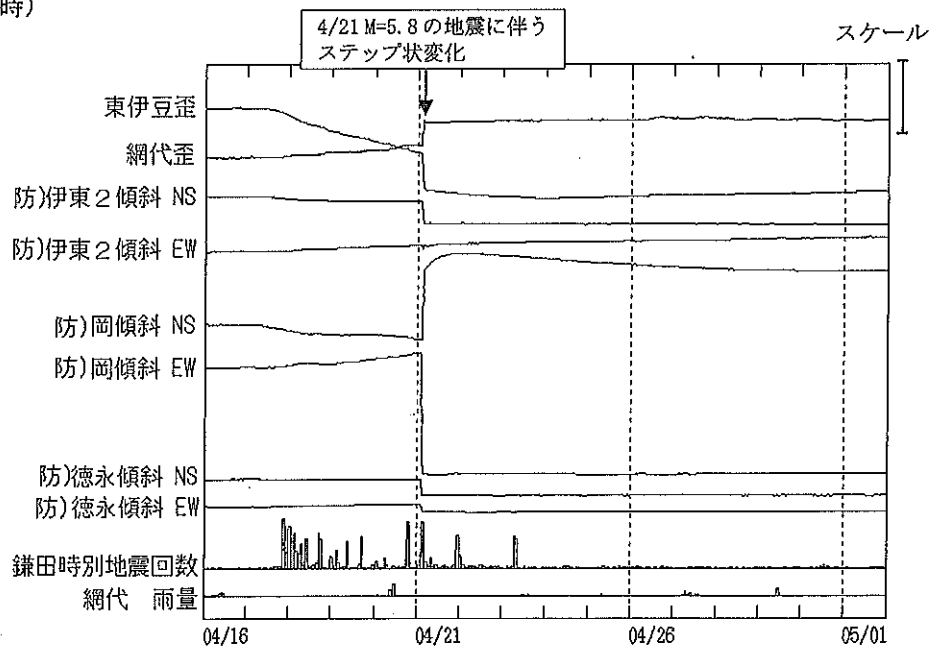
伊豆半島東方沖でまとまった地震活動があった期間を網掛けで示した。

観測点名に「防)」のついている観測点は防災科学技術研究所の傾斜計を示す。鎌田地震回数は、鎌田観測点のS-P時間が6秒以下で上下動速度振幅が一定振幅以上の地震の数を表す。

歪計および傾斜計の位置と震央分布図
(2006年4月16日～5月1日24時)

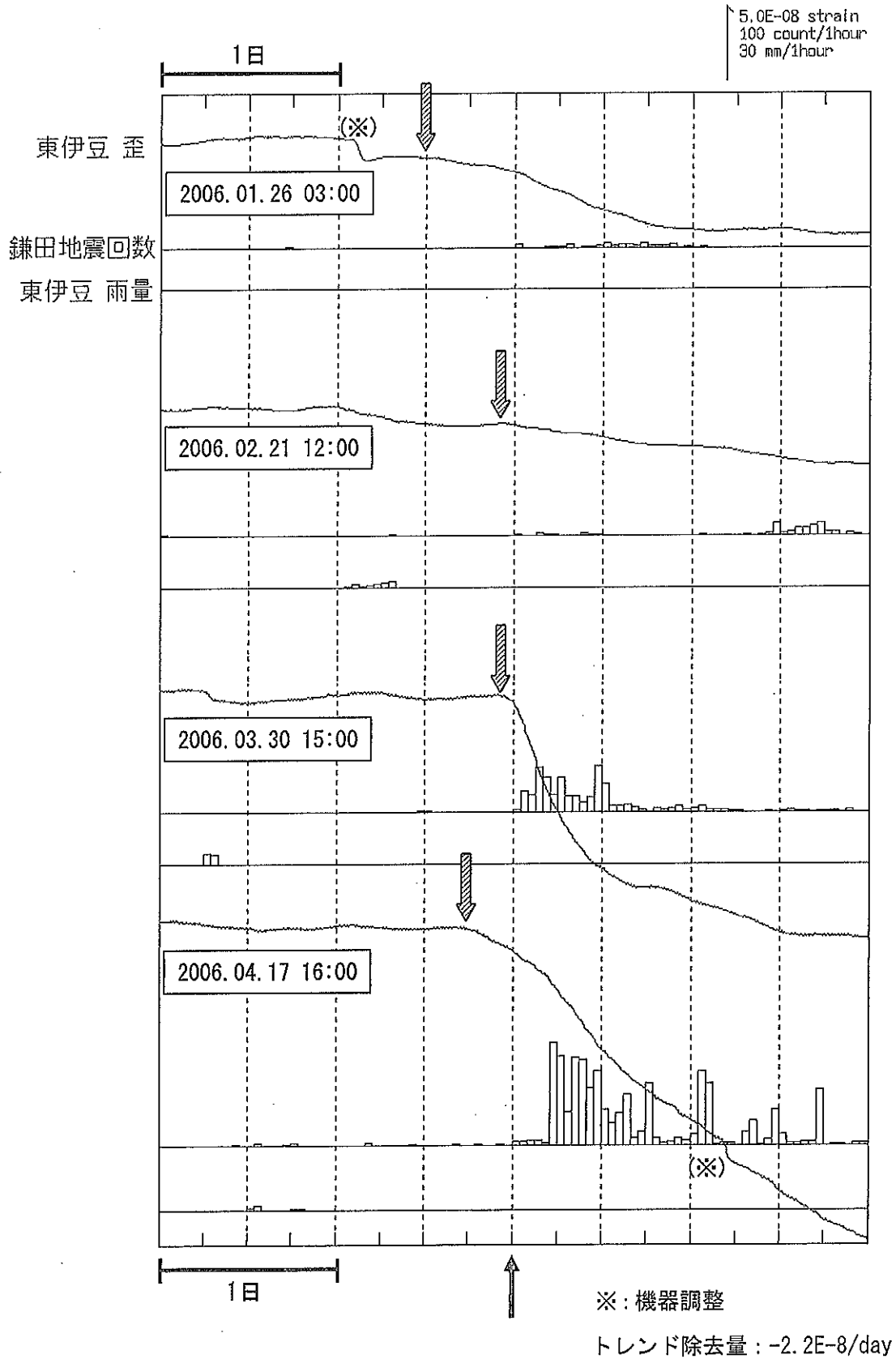


歪計および傾斜計の変化と鎌田の地震回数
(2006年4月16日～5月1日24時)



歪計および傾斜計の変化のグラフにおいて、縦軸のスケールは、 5.0×10^{-7} (歪)、 1.0×10^{-5} (傾斜)、200回/時間 (地震回数)、30mm/時間 (雨量) を示す。

伊豆半島東方沖の地震活動開始前後に
東伊豆の体積歪計に見られた変化



図中の太い矢印 (↓) は歪変化が始まったと思われる時刻
図中の時刻は地震活動が活発化した時刻 (図下段の矢印↑)